

BIPROGY グループ AI ポリシー

1. 目的

BIPROGY グループは、AI を顧客価値の創出、社会課題の解決および持続可能な社会の実現に貢献する重要なテクノロジーと捉えるとともに、その利活用に伴う社会的責任を重視する。

BIPROGY グループは、パーパスおよび価値創出の方向性を踏まえ、AI による価値創出の機会を最大限に活かしながら、人間主体の原則のもと、安全性、公平性、透明性および信頼性に配慮した「責任ある AI」の利活用を推進する。また、ステークホルダーとの継続的な対話を通じて AI への期待と懸念を把握し、社会への価値提供の実現を目指す。本ポリシーは、AI の開発、提供および利用に関する基本方針を定める。

2. 適用範囲

本ポリシーは、BIPROGY グループが業務で利用し、または顧客・社会に提供する AI システム、生成 AI サービス、AI を組み込んだ業務プロセスおよびこれらに関連するデータ、モデル、運用を対象とする。また、AI の開発、提供および利用に関連するすべての業務およびこれに係るグループ役職員に適用する。なお、AI の開発、提供および利用には、企画、調達、運用、監視および保守を含む一連の AI ライフサイクルが含まれる。これら業務に係るサプライヤー、パートナー等の関係先に対しても、本ポリシーを共有し、責任ある AI の実現に向けた理解と協力を得るよう努める。

3. 人間主体

BIPROGY グループは、AI を人間の判断、創造性および責任を代替するのではなく、これらを支援し拡張するための技術として活用する。AI の利用にあたっては、人間の尊厳、自律性および主体的な意思決定への関与を尊重する。特に、重要な判断または高い影響を伴う場面では、人間による適切な関与、確認および最終責任を確保する。

4. 法令遵守

BIPROGY グループは、AI の開発、提供および利用にあたり、適用される法令、規制、契約上の義務ならびに社内規程を遵守する。よって、法令等により禁止されている AI の開発、提供

および利用は行わない。そのうえで、個人情報保護、著作権、営業秘密、消費者保護、業法上の義務その他 AI に関連する法的要請を踏まえ、必要な確認、評価および適切な措置を講じる。また、AI に関する法令・規制のみならず、政府指針や公的機関の動向を継続的に把握し、必要に応じて運用方針および管理策を見直す。関係機関からの照会または協力要請等に対しては、法令、契約および情報保護上の要請を踏まえ適切に対応する。

5. 権利保護

BIPROGY グループは、AI の開発、提供および利用にあたり、個人の尊厳、人格的利益およびプライバシー、著作権その他の知的財産権、営業秘密、その他第三者の権利利益を尊重する。また、個人情報その他の保護を要する情報を AI で取り扱う場合には、利用目的の明確化、取得・利用・保存・提供に関する適正な取扱い、利用目的の達成に必要な範囲での利用およびアクセス制御を徹底する。あわせて、権利侵害のおそれがある場合には、影響評価、利用方法の見直し、代替手段の検討その他必要な措置を講じる。

6. セキュリティと保全性

BIPROGY グループは、AI に関連するデータ、モデル、プロンプト、設定情報、接続先サービスおよび運用環境を適切に保護し、情報セキュリティの確保に努める。外部 AI サービスまたは AI 機能を含む外部サービスを利用する場合には、機密性、完全性および可用性の観点から必要な評価を行い、適切な保護措置を講じる。また、利用に際して想定されるプロンプトインジェクション、情報漏えい、不正利用等の AI 特有の脅威を踏まえた対策を整備し、継続的に見直す。

7. 公平性

BIPROGY グループは、AI の開発、提供および利用にあたり、個人または集団に対する不当な差別、不利益または偏りを生じさせないよう、公平性の確保に努める。

また、公平性の確保にあたっては、多様な価値観および利用者の状況を尊重し、包摂的な AI の利活用に努める。その際、AI の利用目的、対象者、利用場面および影響の程度を踏まえ、データ、モデル、出力結果および業務プロセスにおける偏りの把握、適切な人による関与等の措置を通じて、影響の低減および継続的な改善に取り組む。

8. 透明性

BIPROGY グループは、AI の利用目的、適用範囲、期待される効果および主要なリスクを、関係者に対して適切に説明できる状態を維持する。AI を用いた判断、推奨または生成結果については、その性質および利用場面に応じて必要な情報を提供し、透明性の確保に努める。

9. 安全性と堅ろう性

BIPROGY グループは、AI の導入および運用に伴う誤作動、誤判断、不適切出力その他のリスクを把握し、安全性、信頼性および堅ろう性の確保に努める。また、利用目的および影響の大きさに応じた適切な措置を講じる。さらに、予期しない挙動または重大な影響が認められた場合には、速やかに影響範囲を把握し、被害の最小化および再発防止を図る。

10. ガバナンス

BIPROGY グループは、AI の開発、提供および利用に関する方針、役割、責任および意思決定プロセスを明確にし、適切な AI ガバナンス体制を整備する。また、AI の開発、提供および利用に至る AI ライフサイクル全体を通じて、リスクおよび影響を継続的に把握し、適切な管理および説明責任の確保に努める。

AI の開発、提供および利用にあたっては、利用目的、利用場面および影響の程度を踏まえたリスクベースの考え方に基づき、関係部門が連携して必要な対応を行う。

AI に関する重要事項については、経営方針および事業戦略との整合を図りつつ、所管部門および関係部門が連携するとともに、必要な検討、対応および見直しを行う。

また、AI の利用状況、リスク、事故・障害、改善状況等を継続的に把握し、必要な報告および是正措置を通じてガバナンスの実効性を高める。さらに、経営の責任のもと、AI ガバナンスを全社横断的に推進するための体制整備に努める。AI の開発、提供および利用に起因する問題または懸念が認められた場合には、関係部門が連携し、状況の把握および必要な対応を行う。

11. 環境への配慮（持続可能性）

BIPROGY グループは、AI の開発、提供および利用に伴う計算資源やエネルギー消費による環境負荷を認識し、パートナーやサービス提供事業者とも連携しながら、効率的な技術の選定と運用を通じて過度な負荷の抑制に努め、持続可能な社会と環境保護に配慮する。

1 2. 教育・リテラシーおよび人材育成

BIPROGY グループは、グループ役職員が AI の便益およびリスクを理解し、責任ある AI の活用を実践できるよう、必要な知識、技能および倫理観等に関する教育、啓発および人材育成を継続的に実施する。あわせて、AI に関する事故、法令改正、技術動向および社内運用の見直しを踏まえ、教育内容を適時更新する。

1 3. 本ポリシーの決定、運用および監督

本ポリシーは、経営会議にて審議・決定したうえで、取締役会に報告し、取締役会の監督のもとで運用する。本ポリシーは、少なくとも年 1 回、定期的に見直しを行う。また、法令、社会的要請、技術動向、事業環境または AI の利用状況に重要な変化が生じた場合には、必要に応じて見直し・改定を行うものとする。改定した場合には、グループ役職員に対して速やかに周知する。なお、本ポリシー記載の項目について、少なくとも年 1 回、定期的にその実施状況のとりまとめを行い、結果を取締役会に報告する。取締役会は、執行からの報告を受け、本ポリシーの運用状況および見直しの必要性について適切に監督する。

本ポリシーを実効的に運用するため、AI の開発、提供および利用に関する具体的な要件は AI スタンドダードその他関連文書に定める。

施行日 2026 年 9 月 29 日